



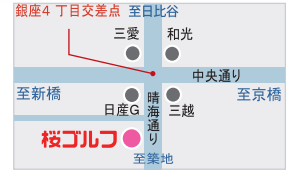
株式会社 桜ゴルフ

東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
(銀座4丁目交差点より1分)

銀座本店 伊勢丹新宿店 そごう千葉店

【お問い合わせは】

0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



謹んで新春のお慶びを
申し上げます

佐川 八重子



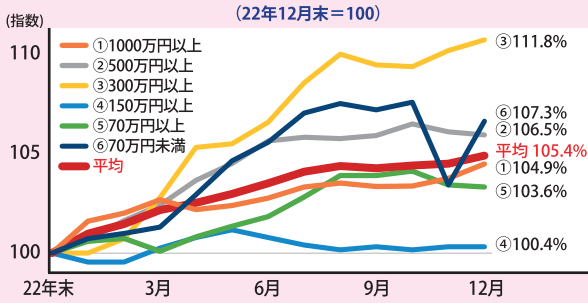
23年相場は続伸
24年も緩やかな上昇へ

会員権相場の値上がりが続いています。23年の関東圏平均相場は年間で5.4%の値上がりとなりました。

コロナ禍で高まったゴルフ人気に伴って20年6月から始まった相場の上昇基調は、二時的な調整局面を交えながらも3年半に及び、20～23年の4年間で平均相場の上昇は累計で21.1%に達しています。

昨年5月に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、行動制限が緩和されました。それでもゴルフ人気は衰えを知らず、前年と同様の賑わいをみせました。法人はやや鈍化ながらも高額名門コースを、個人

23年の価格帯別相場推移(関東圏)



～23年市場のポイント～

- 平均相場は年間5.4%の値上がりで上昇基調続く
- 値上がりは20～23年の4年間で21.1%にのぼる
- ゴルフ人気に伴う会員権需要の高まりが相場を下支え
- 23年は若年ゴルファーにも会員権購入の裾野広がる
- 昨年12月に相場反転、春高の予感。24年も緩やかな上昇へ
- 23年のゴルフ場入場者数は高水準な状態で推移
- 練習場のインドア施設が大都市圏中心に大幅に増加
- ゴルフ用品市場規模が21年ぶりに3000億円に復帰
- 第3次ゴルフブームは5年目に突入、一段の環境整備で「国民・生涯スポーツ」としての歩みを

はゆとり層によるホームコースのクラスアップ需要に加え、若年層へ購入の裾野が広がったことが大きな特徴です。9～11月の採み合いを経て12月には相場が再上昇に転じ、早くも春高の再現が予想される状態になってきました。既に各価格帯の人気コースや法人専用のよみうりG、レイクウッドは品薄状態が続いています。

今年は、会員数が少なく予約の取りやすいコースが脚光を浴びるのではないでしょう。引き続き法人の高額名門コース需要や定着する個人のクラスアップ志向を支えに、相場は緩やかな上昇基調をたどるものと予想されます。

活況続くゴルフ関連市場

全国41都道府県の判明分のゴルフ入場者は、21年以降3年連続でコロナ前の19年を上回り、23年も高水準を維持しました。こうした状況下でスタート予約が取りにくい状態になり、ビジターフィの値上がりや広がりがつづけることがゴルフファンの会員志向を強めています。

また、ゴルフ練習場ではインドア施設が東京など大都市圏を中心にここ1年間で196施設増加(前年比約15%増)するなど、ゴルフが身近なスポーツとなつていくことも無視できません。

高まるゴルフ人気はゴルフ用品の需要にも波及、ゴ

ゴルフアーカイブ2023

ゴルフ場入場者	全国41都道府県の延べ入場者数は1～10月間で4122.2万人。天候の悪化で前年同期比▲1.8%も、大幅に増加した21年(4100万人)を上回る。21～23年の3年間は連続でコロナ禍前の19年を大幅に超える水準。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ緩和後もゴルフ人気が続く。スポーツ庁の調査では、運動・スポーツ参加率上位10項目中、ゴルフの増加率はトップクラス。
ゴルフ練習場	インドア施設が大幅増加中。(社)全日本ゴルフ練習場連盟によるとここ1年間で196施設増加(14.8%増)し1518施設となった。東京を中心とした大都市圏での増加が目立つ。
関連市場	ブームがゴルフ用品にも波及。用品市場規模が21年ぶりに合計3000億円台復帰。ゴルフクラブ、ゴルフ用品、ゴルフボール、ゴルフウェアとも売上高増加。原材料高による商品値上げも寄与。
会員権市場	法人の買いは前年よりやや鈍化した安定した個人需要がカバー。法人は高額、個人は高額に加え中堅、お手頃コースの買いが増加。また、リゾートコース人気も定着。23年は30代と40代の入会者が増えたのが特徴。買い先行の需給状況を支えに関東圏平均相場も続伸、年間5.4%の値上がり。20年以降4年連続で相場上昇、この間の上昇率は21.1%にのぼる。
プロツアー	女子は相変わず群雛割拠、若手の新星が毎年誕生し、20歳前後のプレーヤーがツアーを牽引。男子は20代前半の若手プロが台頭、賞金ランキングの上位を占め、男子ゴルフにも明るい兆し。

ルフ用品の市場規模が21年ぶりに合計で3000億円に復帰しました。

コロナ禍で人気化したゴルフは第3次ゴルフブームを形成し、今年でそのブームも5年目に突入することになります。

このブームを一過性に終わらせることなく、今後もゴルフ場の一段の魅力づくり、入会しやすい諸条件の見直しなどの積極的な環境整備を通じて、ゴルフが「国民・生涯スポーツ」としての歩みを続けることを期待して止みません。